

作成：2024年7月19日

## 令和6年度CAD製図専門学校関係者評価について

### 【スケジュール】

- ★第1回評価委員会 9/10（火） 10：00～11：30  
CAD製図専門学校 1号館 1101 教室  
内容：令和6年度自己評価の説明と質疑応答  
評価項目担当者検討決定  
評価に関する調書・資料閲覧  
留学生学科授業視察・施設見学
- ★第2回評価委員会 書面回答会議  
9/24（火）まで  
内容：令和6年度各担当関係者評価表を事務局へ提出
- 10/1（火）  
内容：上記担当評価集計表を事務局から委員へ送付
- ★第3回評価委員会 10/8（火） 10：00～11：30  
CAD製図専門学校 7号館 7302 教室  
内容：令和6年度学校関係者評価表の質疑応答  
評価のまとめ 意見交換  
CAD製図科授業視察・施設見学
- ★第4回評価委員会 10/18（金）まで  
内容：令和6年度学校関係者評価表最終決定承認
- ◎令和6年度学校関係者評価ホームページ公開 10/28（月）

担当：CAD製図専門学校  
事務局 樋口圭子  
higuchi@cadseizu.ac.jp  
TEL：048-987-2711

## 令和6年度【学校関係者評価】

項目	A	B	C	D
A：最良 B：良 C：可 D：不可・見直し				
教育理念目標人材育成				
評価担当：上田誠治				
①理念・目的・人材育成像は定められているか	○			
《コメント》 適切に教育理念・目標・人材育成像が定められている。				
②人材育成像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか		○		
《コメント》 専門学校生として、勉強だけでなく社会人としての素養などを、学科ごとに人材育成像を具体的に示していくことが必要であると考えます。				
③理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	○			
《コメント》 適切に取り組んでいる。今後も教育活動全般を通して、授業秩序の確立とともに、誠実性や協調性を身に付けるための指導を継続していただきたい。				
④社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	○			
《コメント》 建築業界の現状を把握し、社会のニーズ等を踏まえた将来構想になっている。今後も企業から求められる、社会に貢献できる人材育成を進めていただきたい。				
学校運営				
評価担当：上田誠治				
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	○			
《コメント》 年度ごとの運営方針は委員会・会議での協議を経て策定され、適切に学校長から周知されている。				
②学則・細則・内規等は整備されているか	○			
《コメント》 適切に整備されている。				
③人事・給与に関する制度を整備しているか	○			
《コメント》 適切に整備されている。				
④意思決定システムを整備しているか	○			
《コメント》 必要に応じ、理事会、評議員会、各種委員会が行われており、意思決定システムが整備されている。				
⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか	○			
《コメント》 全教員へのPC配備やファイル共有を行うなど、情報システム化により業務の効率化が図られている。今後も環境整備を行いながら、管理ソフトの導入など、さらに業務の効率化を進めていただきたい。				

教育活動【建築士養成課程】

評価担当：小牧敏治

①理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか

○

《コメント》

仕事を通じて人生を楽しむための人材育成を目指して幅広い知識を身に付けるためのカリキュラム編成がなされていると評価します。

②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか

○

《コメント》

学生が積極的に授業に参加し質問や発言がし易い風土と、教員 2 名体制による見回りなどで学生の到達レベルを把握されている点を評価します。

③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか

○

《コメント》

学科ごとに目標に沿った授業の計画が設定されていると評価します。

④教育課程について外部の意見を反映しているか・キャリア教育を実施しているか

○

《コメント》

どのようなことが実践されたかなど事例が明確になっていると、より効果的かと思いません。

⑤授業評価を実施しているか

○

《コメント》

学生の理解度や教え方に対するアンケートを実施され、また第 3 者による授業巡回視察を行うなど適切な改善に取り組まれていると評価します。

⑥成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか

○

《コメント》

教育課程や内規に定めた採点基準に基づいて成績評価が行われ、再試験なども実施されていることを評価します。

⑦目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか

○

《コメント》

建築業界で仕事をするために、資格がどのような意義と有用性を持つかについて外部関係者による定期公演などを実施されている点を評価します。

⑧資格・免許の指導体制はあるか

○

《コメント》

学生への教育指導は適切に行われていると評価します。今後更なるバックアップ体制の強化に期待します。

⑨資格・要件を備えた教員を確保しているか

○

《コメント》

建築士の資格保有者が多く建築業界にも携わられていらっしゃるため、業界の知識や経験も十分に兼ね備えられていると評価します。

⑩教育資質向上への取り組みを行っているか

○

《コメント》

教員の各種検定や資格試験での合格が、今後人事評価に繋がるような仕組み作りについて更に期待します。

⑩教員の組織体制を整備しているか	○			
《コメント》 定期的な教科別会議にて学生の習熟度や要望を共有し、対策を講じる取り組みがなされていることを評価します。				
教育活動【工業専門・高度専門課程】				
評価担当：上田誠治				
①理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	○			
《コメント》 適切に定められている。				
②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	○			
《コメント》 個人差に対応するためTTを導入し、個別支援を行っていることは評価したい。				
③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	○			
《コメント》 適切な教育課程編成になっている。必要に応じて継続的に見直しも行っていただきたい。				
④教育課程について外部の意見を反映しているか・キャリア教育を実施しているか		○		
《コメント》 外部の意見やキャリア教育がどのように実践されているのかを明記した方が良いと思う。				
⑤授業評価を実施しているか	○			
《コメント》 アンケートは実施した後の分析が重要である。個人へのフィードバックが行われていることは評価したい。				
⑥成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか	○			
《コメント》 内規等を定め基準を明確化するなど、適切に運用がなされている。				
⑦目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	○			
《コメント》 適切に位置づけられている。				
⑧資格・免許の指導体制はあるか		○		
《コメント》 補習等の校内指導体制はどのようになっているのかを明記した方が良いと思う。				
⑨資格・要件を備えた教員を確保しているか	○			
《コメント》 能力・資質等の条件を明確にし、資格要件を備えた教員確保がなされている。				
⑩教育資質向上への取り組みを行っているか	○			
《コメント》 教員の資質向上への取組は非常に重要であり、今後もぜひ継続的に進めていただきたい。				
⑪教員の組織体制を整備しているか	○			
《コメント》 適切に整備されている。今後も見直しと改善を行っていただきたい。				

教育成果【建築士養成課程】

評価担当：小牧敏治

①就職率の向上が図られているか

○

《コメント》

就職希望学生数に対して現在の内定取得学生数が80%を超えており、最終的には90%を超える予測とのことなので、向上が図られていると評価します。

②資格取得率の向上が図られているか

○

《コメント》

授業中にメインの講師とは別の教員が教室の後方を巡回し、質問し易い風土や理解度の把握に努められるなど、取得率向上の工夫がなされていると評価します。

③退学率の低減が図られているか

○

《コメント》

退学の多くなる時期や理由を前年と比べてみるなど、より具体的な傾向と対策が見えると尚良いと思います。

④卒業生の社会的な評価を把握しているか

○

《コメント》

専門知識の習得だけでなく、日本の文化や社会人としての基礎知識についても学ばせることで、即戦力として活躍できる人材を育成されていると評価します。

⑤卒業生への支援体制を整備しているか

○

《コメント》

卒業後の就職先の情報入手や、業務の相談なども随時行っている。また、資格取得支援も希望者に提供するなど、良い取り組みと評価します。

教育成果【工業専門・高度専門課程】

評価担当：細川 威

①就職率の向上が図られているか

○

《コメント》

就職希望率が90%を超えており、学校が学生の就職への意欲を引出していることが感じ取れる。また、就職率を見ても最終的には80%を超える見込みがあるということで、更なる就職率の向上を望む所である。

②資格取得率の向上が図られているか

○

《コメント》

JLPTの受験率は37%を超えているが、所持率になるとN1・2が14%であり、N3以下が54.7%とまだ向上の余地があると考え。日本語習得は就職活動においても重要で不可欠なものであることから、更なる受験率、所持率の向上を期待したい。

③退学率の低減が図られているか

○

《コメント》

退学率の低減は学校全体の評価にも大きく影響する。外国人留学生が多いことから一般的な対策以上の取組みをする必要があるが、その中で、学習面・生活面のサポートの充実などにより退学率を前年度より大幅下回ったことは評価できる。今後も更なる取組に期待する。

④卒業生の社会的な評価を把握しているか

○

《コメント》

卒業生の現状について把握することは難しい側面があると思うが、電話やメールの調査、そして企業訪問を行っていることは評価できる。

⑤卒業生への支援体制を整備しているか		○		
《コメント》 外国人留学生が多いことから、卒業後の進路についてもしっかりとサポートが望まれる。このような中、再就職・在留資格変更等の相談を受け、日本での就労を支援していることは評価できる。今後も更なるサポートを期待する。				
学生支援				
評価担当：阿部将利				
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか		○		
《コメント》 個別に進学先の案内や就職先の企業の紹介や募集を行っている。				
②学生相談に関する体制は整備されているか		○		
《コメント》 個別に生徒ごとに相談対応を行っており、特に在留資格に関しては「在留資格サポート委員会」にて細かいチェック及び対応をしている事を認識している。				
③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか		○		
《コメント》 奨学金制度や生徒によっては分割・延納対応を行っている。				
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか		○		
《コメント》 年一回の健康診断を行い、該当生徒に対しては再検査のフォローも行っている。				
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか		○		
《コメント》 生徒たちに対して無償で体育館を貸与している。				
⑥保護者と適切に連携しているか		○		
《コメント》 個別の相談受付も当然行っているが掲示板にウェブやモバイル受付による相談窓口を設けて生徒たちが相談しやすい体制を実施している。				
教育環境				
評価担当：細川 威				
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか		○		
《コメント》 実際に教室を視察したが、一人一台のPCが用意されていた。また、PC本体の更新や時代に即した機器整備にも心がけている点も評価できる。 まだ日本語に十分慣れていない学生もいることから、教育上の必要な物についてのサポートの充実を期待します。				
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		○		
《コメント》 キャリアサポートセンターの設置は時代に合った取組で大いに評価できる。今後は学校で学んだ知識や経験を十二分に発揮できる教育体制の整備に期待する。				

③防災に対する体制は整備し、適切に運用しているか		○		
《コメント》 危機対応マニュアルの整備、避難訓練の実施などの確認については評価すべき点は多い。一方で外国人留学生が多いことから、通常の防災体制よりもよりきめ細かな整備の必要なるかと考える。これからも防災整備の充実に期待する。				
学生募集受け入れ				
評価担当：細川 威				
①学生募集を適切かつ効果的に行っているか		○		
《コメント》 募集の適切化については問題ないと考える。また、HP や学校説明会、オープンキャンパスなどの実施についても評価できる。				
②入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		○		
《コメント》 選考基準の学校側の説明について、特に問題ないと考える。				
③入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		○		
《コメント》 特に問題ないと考える。				
④経費内容に対応し学納金を算定しているか		○		
《コメント》 算定については、理事会において決算の報告・承認を行っていることから問題ないと考ええる。				
⑤入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか		○		
《コメント》 募集要項に明示されていることから、問題ないと考える。				
財務				
評価担当：田村正弘				
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		○		
<コメント> コロナ5類移行により、令和6年度学生募集においては、想定以上の出願者が集まるなど学生生徒等納付金は増加見込。財務状況の健全化により、コロナ渦でも十分に耐えることが可能であったことから、今後も財務状況においては当面問題ない。				
②学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか		○		
《コメント》 主な財務比率を算出するなど、過去5年間の財務状況を適正に比較・分析している。				
③教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか		○		
《コメント》 過去の実績による予算作りではなく、各部門が今後の方向性を見据えた上で必要な予算を算出すべきである。それに伴う効果を、定期的なモニタリング実施により分析を行い次年度に反映させる。				

④ 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか		○		
《コメント》 厳格なPDCAサイクルが実施され、予算意識・コスト意識の醸成が図られている。引き続き、現場からの予算検討・提出ができるよう組織一体となった取組をお願いしたい。				
⑤ 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか		○		
《コメント》 関連法規に則って、適切な監査が行われている。				
⑥ 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか		○		
《コメント》 必要な情報については、適切に公開されている。				
法令等遵守				
評価担当：田村正弘				
① 法令や専修学校設置を遵守し適正な学校運営を行っているか		○		
《コメント》 法令や設置基準の遵守については、各諸規則の全職員への説明・配布の実施を行っている職員ハラスメントアンケートを実施し、振返りと見える化を推進しているなど、学校運営に係る法令の理解と遵守は学内で浸透している。				
② 学校が保有する個人情報に関する対策を実施しているか		○		
《コメント》 個人情報の保管・管理は厳格に行われている。情報漏洩防止については、ペーパーレス化を推進。不要となった書類廃棄については業者選定を行い、厳格に廃棄している。				
③ 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか		○		
《コメント》 自己評価については、自己評価委員会を組織し改善点を明らかにしている。令和5年度は企業参画による協議会を発足。企業見学、対学生企業説明会、職員向け就職採用勉強会実施し、実務担当者にフィードバック、改善点の提案を促進している。				
④ 自己評価結果を公表しているか		○		
《コメント》 自己評価結果については、ホームページに公表するなど年々精度向上を図っている。				
⑤ 学校関係者評価結果を公表しているか		○		
《コメント》 学校関係者評価結果については、ホームページに公表。評価結果については真摯に受け止め、改善できる点については関係部署を含め的確に対応している。				
社会貢献・地域貢献				
評価担当：阿部将利				
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		○		
《コメント》 学校の体育館を開放して、地域の学習塾の試験会場として利用をする等地域行事の練習会場としても使用して頂き地域貢献をしている。				
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		○		
《コメント》 年に6回（午前と午後）近隣のゴミ拾いや草取りを定期的に行い生徒も活発に参加して取り組んでいる。				



国際交流

評価担当：阿部将利

①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

○

《コメント》

事前に説明会を行い「各国」幅広く受け入れを行う体制をとっており

S N S 等でも多数発信をしており、各国の国際交流を活発に行っている。